

第三セクター情報公開シート I (PDCAサイクルシート)

1 作成年月日・市所管部署

作成年月日	令和 3 年 6 月 14 日
-------	-----------------

市所管部署	石巻市 産業部商工課
-------	------------

2 法人名称等

法人名称	株式会社街づくりまんぼう
法人所在地	石巻市 中瀬2番7号
設立年月日	平成 13 年 2 月 5 日
代表者職・氏名	代表取締役社長 木村 仁

設立目的・経過	「人の光が街をかえる」を経営理念とし、宮城県石巻市の中心市街地52ヘクタールの商業活性化を中心とした街づくり活動にとどまらず、広く公益的な立場のもとに、「まちおこし」「産業振興」「人材育成」を果たし石巻市全体の活性化に貢献することを目的とする。
---------	--

3 定款上の事業内容

- (1) まちづくりに関する企画立案、調査ならびにコンサルタント業務
- (2) 商業振興を図るための企画、指導及び情報提供ならびにコンサルタント業務
- (3) 観光、会議、集会等施設、駐車場、店舗その他施設の企画、建設及び運営業務
- (4) マンガキャラクター商品、出版物の企画、制作及び販売
- (5) 喫茶店、レストランの経営 ほか

4 出資・出捐の状況

資本金・基本財産 総額	石巻市 出資・出捐額	石巻市 出資・出捐割合	市以外の 出資・出捐者	市以外の者の 出資・出捐額	市以外の者の 出資・出捐割合
63,000 千円	30,000 千円	47.6 %	個人	1,900 千円	3.0 %
			石巻商工会議所	1,000 千円	1.6 %
			石巻信用金庫	1,000 千円	1.6 %

※出資額が多い順に上位3者（個人は「個人」と表記）を記載

5 役員・職員の状況

(1) 役員状況

	H30期末	R1期末	R2期末
常勤	1	2	2
うち市職員	0	0	0
うち市退職者	0	0	0
非常勤	12	12	12
うち市職員	1	1	1
うち市退職者	0	0	0
計	13	14	14
うち市職員	1	1	1
うち市退職者	0	0	0

(2) 職員状況

	H30期末	R1期末	R2期末
常勤	23	22	22
うち市職員	0	0	0
うち市退職者	0	0	0
非常勤	0	0	0
うち市職員	0	0	0
うち市退職者	0	0	0
計	23	22	22
うち市職員	0	0	0
うち市退職者	0	0	0

※市職員（及び市退職者）とは、市の常勤の特別職及び一般職の者（及びそれらの職にあった者）で、法人の役職員に就任している者をいう。

6 経営理念・方針

株式会社街づくりまんぼうは、中心市街地52ヘクタールの商業活性化はもとより、公益的な立場のもと、観光、農林水産業をふくむ地域産業の活性化や街づくりを推進するために、自らの収益力を高め石巻市全体の活性化に貢献することを目的としています。

(事業方針)

1. 経営理念である「人の光が街をかえる」を合言葉に、明るく活力のある運営をします。
2. 人の和をたいせつにしながらも、規律のある心構えをもちます。
3. まちおこし、産業振興、人材育成を果たすため、収益性を高める努力を惜しみません。

第三セクター情報公開シート I (PDCAサイクルシート)

7 中期的な経営目標・事業計画

目標項目・指標	単位		令和元年度期	令和2年度期	令和3年度期	令和4年度期	令和5年度期
石ノ森萬画館 有料入館者数	人	目標 計画	80,000	80,000	80,000	80,000	80,000
		実績	102,314	37,304	/		
目標・指標の説明		かわまちエリアを中心とした諸施設と連携し来街されるお客様の増加に努める。さらにオリジナリティのある企画展や各種イベントの開催等によって有料来館へとつなげる。					
目標未達の場合の要因分析		コロナウイルス感染拡大により4~5月休館。その後も感染拡大が収まらなかったため。					

目標項目・指標	単位		令和元年度期	令和2年度期	令和3年度期	令和4年度期	令和5年度期
物販売上高	千円	目標 計画	83,000	84,000	85,000	86,000	87,000
		実績	109,707	36,546	/		
目標・指標の説明		石ノ森萬画館入館者増に伴う店頭販売売上額の増加に加え、外部での委託販売、通信販売の強化に努める。また各種イベントでの出張販売も積極的に行う。					
目標未達の場合の要因分析		コロナウイルス感染拡大により4~5月休館。その後も感染拡大が収まらなかったため。					

8 主要事業の成果、課題

事業名称	前期の事業成果	自己評価・事業課題	前々期の課題への取組成果
石ノ森萬画館 運営事業	コロナウイルス感染拡大の影響で4~5月は臨時休館し、6月から再開したものの来館者は激減した。予定していたイベントもほとんどが中止となったが、そういった中でも様々なWEBコンテンツを提供したり、密にならない企画を実施するなどお客様とのコミュニティの維持に務めた。	コロナウイルスの影響によって来館収入が激減し、厳しい運営を余儀なくされた。萬画館運営に係る費用の半分以上を入館料収入から得ており、来館者が減ると運営費が捻出できなくなるため、来館者収入の他にも柱となる事業の確立が課題として浮き彫りとなった。	数多くのイベントを開催し、あわせてSNSでの情報発信やマスコミ等への露出を増やし来館への動機づけを行った。また、当館でしか観ることができないオリジナリティのある企画展を開催したことが来館者の増加につながった。
事業の公共性、 公益性	石ノ森萬画館への集客を行い、来館者に市街地への周遊を促している。さらに石巻市はもとより関連機関と連携した企画や広報・営業活動を行い、石巻圏域への観光客増加を図っている。		

事業名称	前期の事業成果	自己評価・事業課題	前々期の課題への取組成果
街中復興 推進事業	堤防一体空間、COMMON-SHIP橋通りの運営。中心市街地のエリアマネジメント事業として店主や住民との交流や勉強会等の実施及び参加。またマンガロードの拡充整備、コロナ禍を見据えた新規事業も実施した。	コロナ禍でも堤防一体空間やCOMMON-SHIP橋通りの環境を活かした密にならない企画を行い、一定の賑わい創出効果をあげることはできたと考えている。今後はアフターコロナを見据えた事業を行うことが必要だと考えている。	堤防一体空間の利活用や中心市街地まちづくり計画、各商店街まちづくり支援等、地域の関係機関と一緒に検討実践を重ねてきた。またマンガロードの整備拡充も行った。
事業の公共性、 公益性	関連施設や地域住民の方々と連例を図りながら、市街地の復旧復興に向けた事業を行っている。		

9 市が期待する役割、市意見等 (担当部署記載)

※各情報公開シートの個別項目毎及び決算全体の所感について、別紙様式に記載ください。

第三セクター情報公開シートⅡ（財務諸表）

団体名称	株式会社街づくりまんぼう
------	--------------

1 財務諸表（金額単位：円）

貸借対照表 (B/S)	借方（科目）	平成30年度期	令和元年度期	前期増減	令和2年度期	前期増減
	流動資産	136,308,818	141,761,023	5,452,205	150,893,669	9,132,646
	うち 現金・預金	82,755,630	86,518,599	3,762,969	99,571,519	13,052,920
	固定資産	19,034,518	19,395,388	360,870	16,018,884	▲ 3,376,504
	有形固定資産	8,532,518	8,556,328	23,810	13,589,764	5,033,436
	無形固定資産	20,000	20,000	0	20,000	0
	投資その他の資産	10,482,000	10,819,060	337,060	2,409,120	▲ 8,409,940
	資産の合計	155,343,336	161,156,411	5,813,075	166,912,553	5,756,142
	貸方（科目）	平成30年度期	令和元年度期	前期増減	令和2年度期	前期増減
	流動負債	34,901,313	28,755,260	▲ 6,146,053	29,218,921	463,661
うち 短期借入金	2,200,000		▲ 2,200,000	12,000,000	12,000,000	
固定負債	0	0	0	14,000,000	14,000,000	
うち 長期借入金			0	14,000,000	14,000,000	
負債合計	34,901,313	28,755,260	▲ 6,146,053	43,218,921	14,463,661	
純資産	120,442,023	132,401,151	11,959,128	123,693,632	▲ 8,707,519	
うち 資本金	63,000,000	63,000,000	0	63,000,000	0	
うち 資本剰余金			0		0	
うち 利益剰余金	75,792,023	87,751,151	11,959,128	79,043,632	▲ 8,707,519	
うち その他	▲ 18,350,000	▲ 18,350,000	0	▲ 18,350,000	0	
負債・純資産の部合計	155,343,336	161,156,411	5,813,075	166,912,553	5,756,142	

損益計算書 (P/L)	科目	平成30年度期	令和元年度期	前期増減	令和2年度期	前期増減
	売上高	281,372,689	315,057,816	33,685,127	189,964,019	▲ 125,093,797
	売上原価	203,502,561	216,073,599	12,571,038	144,207,058	▲ 71,866,541
	売上利益	77,870,128	98,984,217	21,114,089	45,756,961	▲ 53,227,256
	販売費・一般管理費	73,385,195	80,936,296	7,551,101	69,622,509	▲ 11,313,787
	営業利益	4,484,933	18,047,921	13,562,988	▲ 23,865,548	▲ 41,913,469
	営業外収益	1,917,308	305,401	▲ 1,611,907	11,094,858	10,789,457
	営業外費用	82,728	22,995	▲ 59,733	199,743	176,748
	経常利益	6,319,513	18,330,327	12,010,814	▲ 12,970,433	▲ 31,300,760
	特別利益	107,188	266,782	159,594	4,448,425	4,181,643
	特別損失	3	0	▲ 3	2	2
	税引前当期純利益	6,426,698	18,597,109	12,170,411	▲ 8,522,010	▲ 27,119,119
	法人税等	1,907,559	6,637,981	4,730,422	185,509	▲ 6,452,472
当期純利益	4,519,139	11,959,128	7,439,989	▲ 8,707,519	▲ 20,666,647	

※行については、適宜、追加・削除、区分修正可。ただし、設定した計算式に影響を与えないこと。
 ※財務諸表を添付すること。

第三セクター情報公開シートⅡ（財務諸表）

区分	平成30年度期	令和元年度期	前期増減	令和2年度期	前期増減
営業活動によるキャッシュフロー	2,011,770	10,082,909	8,071,139	▲ 17,867,298	▲ 27,950,207
税引前当期純利益	6,426,698	18,597,109	12,170,411	▲ 8,522,010	▲ 27,119,119
減価償却費	4,921,530	3,759,070	▲ 1,162,460	2,753,283	▲ 1,005,787
有形固定資産売却益			0	▲ 21,999	▲ 21,999
有形固定資産除却損	3		▲ 3	2	2
受取利息及び受取配当金	▲ 2,917	▲ 8,580	▲ 5,663	▲ 3,254	5,326
雑収入・義援金及び助成金	▲ 2,021,579	▲ 563,603	1,457,976	▲ 11,243,030	▲ 10,679,427
その他資産の売却益			0	▲ 4,275,000	▲ 4,275,000
支払利息	82,570	22,993	▲ 59,577	183,743	160,750
雑損失	158	2	▲ 156	16,000	15,998
売上債権の増加額（減少額）	▲ 12,301,466	▲ 1,112,085	11,189,381	2,438,186	3,550,271
棚卸資産の増加額（減少額）	3,058,533	1,300,623	▲ 1,757,910	2,207,603	906,980
仕入債務の増加額（減少額）	6,209,606	▲ 5,486,092	▲ 11,695,698	▲ 470,858	5,015,234
その他流動資産の増加額（減少額）	▲ 5,298,082	▲ 1,877,774	3,420,308	▲ 725,515	1,152,259
その他流動負債の増加額（減少額）	996,607	▲ 3,072,061	▲ 4,068,668	▲ 5,474,781	▲ 2,402,720
利息及び配当金の受取額	2,917	8,580	5,663	3,254	▲ 5,326
雑収入・義援金及び助成金	2,021,579	563,603	▲ 1,457,976	11,243,030	10,679,427
利息の支払額	▲ 82,570	▲ 22,993	59,577	▲ 183,743	▲ 160,750
雑損失	▲ 158	▲ 2	156	▲ 16,000	▲ 15,998
法人税等の支払額	▲ 2,001,659	▲ 2,025,881	▲ 24,222	▲ 5,776,209	▲ 3,750,328
			0		0
投資活動によるキャッシュフロー	▲ 8,057,368	▲ 4,119,940	3,937,428	4,920,218	9,040,158
有形固定資産の取得による支出	▲ 8,557,365	▲ 3,782,880	4,774,485	▲ 7,786,722	▲ 4,003,842
有形固定資産の減少額	▲ 3		3	3	3
有形固定資産の売却			0	21,999	21,999
有形固定資産の除却			0	▲ 2	▲ 2
その他資産の売却益			0	4,275,000	4,275,000
その他の投資	500,000	▲ 337,060	▲ 837,060	8,409,940	8,747,000
			0		0
財務活動によるキャッシュフロー	▲ 2,400,000	▲ 2,200,000	200,000	26,000,000	28,200,000
株式の発行による収入			0		0
資金の借入による収入			0	30,000,000	30,000,000
借入金の返済による支出	▲ 2,400,000	▲ 2,200,000	200,000	▲ 4,000,000	▲ 1,800,000
			0		0
現金及び現金同等物に係る換算差額			0		0
現金及び現金同等物の増減額	▲ 8,445,598	3,762,969	12,208,567	13,052,920	9,289,951
現金及び現金同等物期首残高	91,201,228	82,755,630	▲ 8,445,598	86,518,599	3,762,969
現金及び現金同等物期末残高	82,755,630	86,518,599	3,762,969	99,571,519	13,052,920

(※1) 負の数の場合は、マイナス記号（-）を付けて入力すること。

(※2) 支出は、マイナス記号（-）を付けて入力すること。

2 市による財政・金融支援等（金額単位：円）

区分	平成30年度期	令和元年度期	前期増減	令和2年度期	前期増減
補助金（交付金・助成金・負担金）	4,431,348	2,396,390	▲ 2,034,958	2,188,384	▲ 208,006
事業費補助金（交付金・助成金・負担金）	4,431,348	2,396,390	▲ 2,034,958	2,188,384	▲ 208,006
管理費補助金（交付金・助成金・負担金）			0		0
委託料及び指定管理料	63,348,400	71,508,600	8,160,200	89,192,040	17,683,440
借入金（期末残高）	0	0	0	0	0
短期借入金			0		0
長期借入金			0		0
出資・出捐（期末時）			0		0
債務保証額（期末残高）			0		0
損失補償額（期末残高）			0		0
その他の財政支援・優遇措置（税、使用料、手数料の減免等）	萬画館の一部 // 4-5月休館分 市役所5階	1,323,697 1,331,896 6,291	8,199 0 35	1,341,733 223,622 6,277	9,837 223,622 ▲ 14

※行については、適宜、追加・削除、区分修正可。ただし、設定した計算式に影響を与えないこと。
※財務諸表を添付すること。

情報公開シートⅡ補足資料

法人名：株式会社街づくりまんぼう

1 貸借対照表に関する補足

(1) 総括分析

新型コロナウイルス感染拡大の影響で売上が減少し、利益剰余金を充当したため、純資産が減少した。一方で借入を増やしたため全体として資産も増加した。
 萬画館への入場者数が売上に直結しているため、新型コロナウイルスの収束が見通せない中ではあるが、コロナ禍に対応した事業の展開を図りたい。

(2) 前年度から数値が変動した科目及びその要因

項目	変動内容 (単位：円)	変動要因	
流動資産	現金及び預金	13,052,920増	新型コロナウイルス感染拡大の影響による当期純損失発生や資産取得等による支出増加もあったが、資金の借り入れや資産売却額がこれを上回ったことにより差引で増加
固定資産	有形固定資産	5,033,436増	構築物及び土地取得により増加
	投資その他の資産	8,409,940減	「金」の売却により減少
流動負債	短期借入金	12,000,000増	セーフティネット保証制度を活用した借り入れの増加
固定負債	長期借入金	14,000,000増	

2 損益計算書又は正味財産増減計算書に関する補足

(1) 総括分析

貸借対照表の総括同様、新型コロナウイルス感染拡大の影響によって萬画館での売上が落ち込み、イベントについても中止や事業縮小が余儀なくされ、思うように事業を進めることができなかった。一方で休館による指定管理料の増額や新型コロナウイルスに関する各種補助金を活用し、経営維持に努めた。結果としては売上の総利益が前年度と比べ半分以上減少し、当期純損失が発生した。

(2) 前年度から数値が変動した科目及びその要因

項目	変動内容 (単位：円)	変動要因	
売上高	収益収入高	92,430,699減	新型コロナウイルス感染拡大に伴う入館者数減(例年の約3分の1)により前期比で大幅に減少
	入場料収入	49,038,063減	
	指定管理料	19,280,000増	新型コロナウイルス感染拡大に伴う影響額補填(臨時休館等)により増加
売上原価	収益仕入高	47,728,425減	新型コロナウイルス感染拡大に伴う営業縮小により大幅に減少
	本部仕入高	3,709,267減	
	萬画館運営費用	21,361,185減	新型コロナウイルス感染拡大に伴う臨時休館等により管理経費減少
販売費・一般管理費	11,313,787減	新型コロナウイルス感染拡大に伴う事業縮小により前期比で減少	
営業外収益	助成金	10,460,052増	各種官公庁等からのコロナ対策支援により増加

情報公開シートⅡ 補足資料

3 キャッシュフロー計算書に関する補足

(1) 総括分析

今年度の営業活動によるキャッシュフローでは前年度と比べ27,950千円減少したが、固定資産の売却収入や資金借り入れ収入によって、投資活動によるキャッシュフロー、財務活動によるキャッシュフローは増加する結果となった。新型コロナウイルス感染拡大が要因のため、収束が見通せない中ではあるが、今後の動きに注視したい。

(2) 数値が変動した区分及びその要因

項目	変動内容(単位:円)	変動要因
営業活動によるキャッシュフロー	税引前当期純利益	27,119,119減 物販収入等落ち込みによる減少
	法人税等の支払額	3,750,328増 前年度の売上による増加
	その他資産の売却益	4,275,000減 営業活動による純利益に、投資活動に係る資産売却の利益が含まれているため、帳簿上の処理として減額
投資活動によるキャッシュフロー	その他資産の売却益	4,275,000増 「金」の売却により前期比で増加(売却時利益分)
	その他投資	8,747,000増 「金」の売却により前期比で増加(当初価値分)
財務活動によるキャッシュフロー	資金の借入による収入	30,000,000増 新型コロナウイルス感染拡大に対する補填とするセーフティネット保証制度の活用による増加(4,000千円返済済み)

4 市による財政・金融支援等に関する補足

(1) 市からの補助金等の交付状況

補助金等の名称	補助金額(単位:円)	補助金の使途
石巻市商店街再生加速化事業費補助金	1,388,384	ロボット刑事K、芝刑事のブロンズ製モニュメント制作、猫のモニュメント制作、街中賑わい創出のためのフラッグ掲出等
石巻市新型コロナウイルス感染症拡大防止協力金	600,000	運営費
石巻市観光関連産業経営支援金	200,000	運営費

(2) 市からの委託業務等(指定管理含む)の状況

委託業務の名称	委託料(単位:円)	委託業務の内容
マンガモニュメント修復業務	506,000	サイボーグ009(島村ジョー)モニュメント修繕
マンガロード周遊促進webサイト管理運営委託業務	1,782,000	マンガロードwebサイト制作及び管理運営
中央地区堤防一体空間エリアマネジメント業務委託	11,000,000	元気いちば前の堤防利活用における実証実験として飲食店の出店者募集、各種イベントの実施、利用者の意識調査等
SDGs普及啓発ポスター等作成業務	1,624,040	SDGs普及啓発を目的としたポスター、ステッカー等の制作
石ノ森萬画館指定管理業務	74,280,000	石ノ森萬画館管理運営

情報公開シートⅡ 補足資料

(3) 税、使用料、手数料等の減免の状況

減免されている税目等名称	減免額(単位：円)	減免理由
石ノ森萬画館の一部施設の 目的外使用料	1,341,733	石巻市行政財産目的外使用許可処理基準に該当
石ノ森萬画館の一部施設の 目的外使用料 (4-5月臨時休館分)	223,622	石巻市行政財産目的外使用許可処理基準に該当
市役所5階市民サロンの 目的外使用料	6,277	石巻市行政財産目的外使用許可処理基準に該当

市が期待する役割・市意見等（別紙）

法人名：株式会社街づくりまんぼう

担当部署名：産業部商工課

1 第三セクター情報公開シートⅠ（PDCAサイクルシート）に対する意見

（1）中間的な経営目的・事業計画

新型コロナウイルス感染拡大の収束が見通せず、令和2年度は前年度と比べ半分以下の入館者となった。しかし、ホームページやSNSによるイベントの周知や広報活動、通販での限定商品販売などコロナ禍に応じた事業を行っているため、引き続き事業の継続及び強化に努めてほしい。

（2）主要事業の成果、課題

新型コロナウイルスの影響によりイベントの実施が困難となる中、堤防一体空間などを活用し、感染拡大予防対策を行ったイベントの実施によって賑わい創出につながったと考える。しかし、令和元年度からの課題であった中心市街地内で川沿い周辺のエリアから商店街が並ぶ内陸側のエリアへ賑わいを波及させることは引き続き取り組む必要がある。

2 第三セクター情報公開シートⅡ（財務諸表）に対する意見

（1）貸借対照表

新型コロナウイルスの影響により前年度を下回る結果となったが、予想外の出来事による落ち込みのため、財政状況等に関する意見はなく、引き続き効果的・効率的な運営及び事業実施に努めてほしい。

（2）損益計算書又は正味財産増減計算書

新型コロナウイルスの影響により前年度を下回る結果となったが、予想外の出来事による落ち込みのため、財政状況等に関する意見はなく、引き続き効果的・効率的な運営及び事業実施に努めてほしい。

(3) キャッシュフロー計算書

新型コロナウイルスの影響により前年度を下回る結果となったが、予想外の出来事による落ち込みのため、財政状況等に関する意見はなく、引き続き効果的・効率的な運営及び事業実施に努めてほしい。

(4) 市による財政・金融支援等

令和2年度は新型コロナウイルスの影響により売り上げが減少したため、市の補助金を活用しているが、例年運営維持等を目的とした補助はしていないので、引き続き効率的な経営に努めてほしい。

3 法人に対し市が期待する役割等（担当部署所感）

令和2年度、街づくりまんぼうは都市再生推進法人に指定され、財源支援策や新たな制度を活用することができるようになった。よって、街中の復興推進のために今まで取り組んできた事業と併せた新たな事業の展開を期待する。

また、石ノ森萬画館の運営にあっては今後も厳しい状況が見込まれるが、企画展や各種イベントによって街を活気づけるような役割を期待する。